

第6学年1組 国語科学習指導案

日時: 令和7年1月24日(金) 3校時

場所: 浜田市立松原小学校 6年1組教室

1 単元名 宇宙や地球の未来について話し合おう 「宇宙への思い」
東京書籍6年

2 学級 松原小学校 6年1組 23名

3 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

文章を読み, 考えを広げたり深めたりする力

情報活用能力指導の観点・系統性

※アルファベットは「松原小学び方指導体系表」より

○情報の整理

k 情報を手元に置く

担当した説明文を読み取り, 響いた言葉を引用する。

○考えの形成, 記述

m まとめる

引用した言葉と関連付けて, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

○表現・共有

n 発表・交流

相手に分かりやすく話し, 感想を伝える。

単元の特質

本単元の重点指導事項は, 学習指導要領の内容「C読むこと」(1)力である。これまでの説明文の学習で, 論の進め方を捉えることや説得の工夫を読み取るについて学習してきた。それらの経験を踏まえ, 本単元では, 宇宙に関わる人々の書いた複数の文章を読み, そこに込められたメッセージについて考えることによって, 自分の考えを広げたり深めたりする力を身につけさせたい。

情報を整理して関係を理解する知識や技能などの情報活用能力を働かせることで, 自分の考えを広げたり深めたりする力を育てるようにしたい。

本単元に関わる子どもの実態

児童は, 10月に学習した「永遠のごみ」プラスチックの学習で, 文章の内容を分解して捉えたり, 類似する内容や要素をまとめたりしながら読み取る力をつけてきた。

本単元ではグループで3つの説明文を分担して読み取り, 読み取ったことをグループ内で伝え合うと共に, それぞれの似ているところや違うところを考えさせることで, 大事なことや筆者の思いから自分なりの解釈が出来るようにしたいと考えている。その活動では, 要約学習を通して培ってきた, 図式化することで話の内容を多角的に捉えると共に, 読み取った内容を分かりやすく話す力が, 生かされると思われる。

4 研究の重点とのかかわり

(1) 視点1 情報活用能力の系統的指導

情報の整理の仕方～「松原小学校学び方指導体系表」とのかかわり～

本単元では主に「情報の整理の仕方 k情報を手元に置く」の観点を取り上げる。グループ内で分担して読み取った内容を、読者への思いの強さと、考え方や生き方のすばらしさについて、Xチャートにまとめる活動を取り入れる。そして、それぞれの似ているところと違うところを考えさせる中で、大事なことや筆者の思いを明らかにしていきたい。そして、自分の心に響いた筆者のことはばを引用して自分の考えと関連させながら、作文「わたしたちの未来」をまとめさせたい。

(2) 視点2 要約学習の実践

本単元で付けたい力「文章を読み、考えを広げたり深めたりする力」をつけるために、要約学習で身に付けた力を活かす。説明文を読み取る活動では、キーワードを図式化することで、筆者の論点の根拠を系統的にまとめると共に、グループ内で伝え合うときには、その図式を用いて自分のことばで説明できるようにしたい。これは、「松原小学校学び方指導体系表 n 発表・交流」ともかかわる。

(3) 視点3 言語活動、言語環境の充実

本単元では、教材文を読み、宇宙や地球の未来について考えたことを話し合うという言語活動を設定している。そのためには、まず宇宙に関わる仕事をする3人の話を読み取り、未来における自分と宇宙との関わりについての考えをもつ必要がある。宇宙のこと、地球に生きるわたしたち自身のことに関心するために、関連のある図書を教室に置き、いつでも手に取れるようにする。

5 単元の目標

(1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との表し方を理解し、使うことができる。

【知識および技能】(2)イ

(2) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。また、その意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ、カ

(3) 進んで3つの文章から自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しを持って考えたことを話し合おうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

6 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との表し方を理解し、使っている。 | ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ②「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 | 進んで3つの文章から自分の考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 |

7 単元の指導計画 (全6時間)

| 次 | 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
|----|---|---|---|--|
| 第一 | 1 | <p>○単元のねらいを知り, 学習方法を考え, 学習の見通しをもつ。</p> <p>○めあてをつかむ</p> | <p>○ねらいと言語活動の内容を具体的に示し, 学習の見通しをもつことができるようにする。</p> | |
| | | <p>3人の宇宙への思いから伝わってきたことを話し合っ、考えたことを「わたしたちの未来」としてまとめて発表しよう。</p> | | |
| 第二 | 2 | <p>○「宇宙の思い」の3つの文章をグループで分担して読み, それぞれの文章の内容を, 図式化を用いて確かめる。</p> | <p>○事実を書いている段落と思いや考えを書いている段落とを区別しまとめる。</p> <p>○筆者の読者への思いと, 筆者の考え方や生き方のすばらしさについて, 筆者のことばを引用してグループで伝える事ができるようにする。</p> | <p>【知識・技能】 観察・ワークシート 事実を書いている段落と思いや考えを書いている段落とを区別し表記されているかの確認</p> |
| | 3 | <p>○グループ内で分担した文章について読み取った内容を説明し, 3人の筆者の読者への思いの強さについて話し合い, Xチャートにまとめる。</p> | <p>○Xチャートには, 主に筆者の引用文を書かせるようにする。</p> | <p>【思考・判断・表現②】 観察 ワークシートの事柄をもとに話したり, 聞いて感想を伝えたりする様子の確認</p> |
| | 4 | <p>○3人の筆者の考え方や生き方のすばらしさについて話し合い, Xチャートにまとめる。</p> | <p>○担当者の説明に対して質問もしながら, 自分が担当していない説明文の内容についても確認ができるように促す。</p> | <p>【主体的に学習に取り組む態度】 観察 進んで知りたいことを調べ, 「わたしたちの未来」にまともようとしている様子の確認</p> |
| | 5 | <p>○自分の考えをまとめ, 作文「わたしたちの未来」を作る。</p> | <p>○3. 4時で作成したXチャートの中に記された3人の筆者のことばを2つ以上引用して, 自分の考えと関連させながら文章をまとめるようにする。</p> | <p>【思考・判断・表現①】 観察 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめる様子の確認</p> |
| 第三 | 6 | <p>○「わたしたちの未来」を学級で紹介し合い, 感想を共有する。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p> | <p>○「わたしたちの未来」を紹介し合うことで, お互いのよいところを知るようにする。</p> <p>○本単元を通して, できるようになったこと, 頑張ったことを振り返ることで, 付けた力を確認できるようにする。</p> | <p>【思考・判断・表現②】 観察 「わたしたちの未来」を紹介し, 聞いて感想を伝えたりする様子の確認</p> |

8 本時の指導 (5/6時間目)

(1) 本時のねらい

3つの文章をもとに自分の考えを整理し、「わたしたちの未来」をまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

(2) 本時の展開

| 学習活動 | 教師の支援 | 【評価】 |
|---|---|---|
| 1. 本時のめあてをつかむ。 前時で学習したXチャートの内容について確認し、本時のめあてを確かめる。 | ・自分の考えをもつことの重要性を確認し、3人の筆者の文章を引用しながらまとめるという、学習の見通しをもつことができるようにする。 | |
| 3つの文章をもとに自分の考えを整理し、「わたしたちの未来」をまとめよう。 | | |
| 2. 作文の構成(図式化)を考える。 ①引用する分を2つ以上選ぶ。 ②自分の考えを図式化する。 | ・考えのテーマ例を示す。 ①宇宙開発に関わる人の話から学んだこと ②これからの宇宙開発の目指す姿や問題 ③自分がこれからの未来に向けて取り組みたいこと ・図式ができた人の内容を紹介する。 | |
| 3. 作文を書く。 | | 【思考・判断・表現①】図式化ワークシート, 作文 筆者のことばを2つ以上引用して、自分の考えと関連させながら文章をまとめている。 |
| 4. 全体に発表する。 | ・引用文にはかぎかっこを入れさせる。 | |
| 5. 学習を振り返る。 | ・作文がまとまりきらない人のため、また次時の発表の際のモデルとなるように、数名の児童に発表を促す。 ・本時の学習を振り返り、本時の学びを実感できるようにし、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。 | |

(3) 本時の評価

| 十分満足できると判断される状況 | 概ね満足できると判断される状況 | 支援を要する状況への手立て |
|--|---|---|
| 筆者のことばを2つ以上引用して、その情報を比較させながら、自分の考えと関連させて文章をまとめている。 | 筆者のことばを2つ以上引用して、自分の考えと関連させながら文章をまとめている。 | ・テーマのしぼり方を支援する。 ・引用文をもとにした図式化の仕方を支援する。 |

9 考察(成果・課題)

情報の整理の仕方

本単元では、宇宙に関わる人々の書いた3つの説明文を読み、そこに込められたメッセージについて考えることによって、自分の考えを広めたり深めたりする力を身につけることをねらいとしていた。6年生最後の説明文ということもあり、3つの文章が量的にも質的にもかなりレベルが高いものであった。そこで23名を4つのグループに分け、グループ内で3つの文章を分担して読み取ることにした。文末に気をつけて筆者の思いや考え

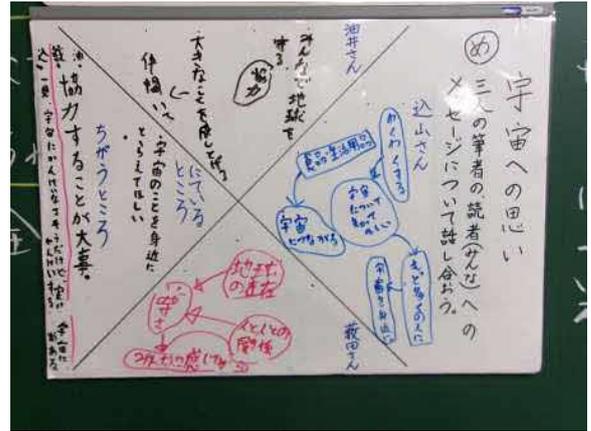
を読み取り、図式化を用いて要約していった。

4つのグループで情報を共有する前に、3つの説明文ごとのグループ会で、それぞれの要約を情報交換したことで、読み取りに自信のなかった児童も再確認することができていたので、有効だった。

分担した文章について読み取った内容をグループ内で説明するときにはXチャートを利用し、文章の読み取りの共有後、3人の筆者の似ているところと違うところをまとめさせた。その話し合いを通して、児童の読み取りが深まっていたように感じた。ただ、Xチャートにまとめる際のテーマを「筆者の考え方や生き方のすばらしさ」と「筆者の読者への思い」の2種類に設定したが、似た内容のキーワードが多く出てきてしまった。そのテーマよりは、筆者がなぜそう考えたのか、その根拠に迫るようなテーマにすれば、その後の自分の意見文を書くときにも、それぞれの考えが広がりやすかったのではなかったかと思われる。



グループ内で読み取った内容を共有



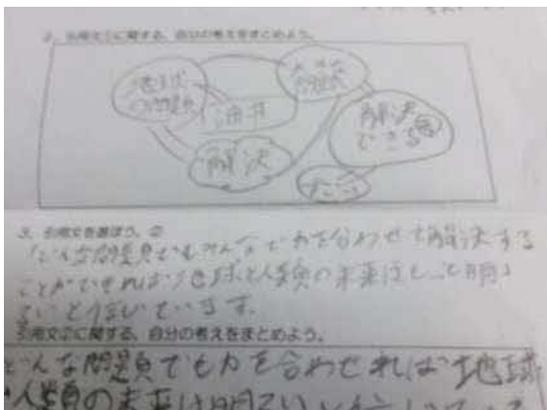
Xチャート(読者へのメッセージ)

文章にまとめる

文章にまとめる際に、作文の題は「わたしたちの未来」で、引用文を2つ使うことを条件にした。「わたしたち」としたのは、地球や人類の未来という広い視野での意見文にしてほしかったからである。また、3つの説明文から引用することで、筆者の考えと考えを比較しながら文章をまとめさせたいという思いもあった。

本時では、引用文をどこにするかを迷う児童が出ると予想されたので、どの筆者の文章にするかをまず決めさせた。次に、ワークシートで引用文に関する自分の考えを図式化の手法でまとめさせ、文章化につなげた。作文の前にこの活動を入れたのは、文章化が苦手だった児童も、図式化を挟むことでスムーズに書くことができるようになっていたからである。

実際に書く段階では、紙媒体とタブレット入力を選択できるようにした。選択制にしたことも、児童の意欲の高まりに有効だった。



引用文から自分の考えを図式化



図式をもとに文章へ